

石二小だより

第59号 平成30年1月30日(火)発行 文責：鈴木

【電話】0244-22-2724【ホームページ】http://www.minamisoma.gr.fks.ed.jp/?page_id=145

平成29年度重点目標「しっかり聞いて、しっかり話そう」

素敵なメロディーを奏でて

21日(日)には、相馬市民会館で「第18回相双バンドフェスティバル」が開催されました。本校からは、吹奏楽部の6名が出演しました。第1部では、鹿島小、原町二小の子どもたちとともに、中学生や高校生のお兄さんやお姉さんと一緒に「南相馬・双葉地区合同バンド」を結成し、「マーチ『春風』」「ディズニー・メドレー」「どこまでも～How Far I'll Go～」の3曲を演奏しました。第2部では相馬・新地地区の中学生と高校生が、第3部では相双地区高等学校合同バンドの皆さんが、演奏を披露してくれました。最後には全出演者による「ブラジル」の演奏で、会を締めくくりました。一緒に練習する時間はわずかでしたが、中・高生の人たちと演奏する機会は普段はなかなかないので、とてもよい経験ができたと思います。会場の皆さんからは、賞賛の大きな拍手をいただきました。



ミシンを使ってエプロンを仕上げる



5年生は家庭科の授業で、「ミシンにトライ！手作りで楽しい生活」という単元を学習しています。最終的にはミシンを使ってエプロンを仕上げるのですが、先週辺りからミシンの使い方の練習が始まりました。最初は、見本の生地を直線縫いをする練習です。曲がらないように慎重に針を動かして、真剣に針先を見つめながら取り組んでいます。手縫いと違って、ミシンはとても効率よく縫うことができますが、一旦失敗してしまうと、後からそれをほどいて縫い直すのは大変な作業です。子どもたちの作業の様子を見ながら、自分が小学生だった頃は、まだ足踏み式のミシンだった記憶がよみがえりました。これからしっかり練習をして、上手にエプロンを仕上げたいと思います。

《裏面もご覧ください》

県内のインフルエンザが警報レベルに

福島県感染症情報センターが24日（水）に発表した福島県感染症発生動向調査によりますと、県内の医療機関の1定点あたりのインフルエンザ患者数が、一気に前週の2倍以上の48.64人となり、警報レベルに入りました。相双地区は24.00人でまだ注意報レベルですが、会津地区は89.70人、県南地区は57.71人、いわき地区は51.38人など、相双と南会津以外の地区はすべて警報レベルに入りました。インフルエンザは高熱や関節痛等の全身症状の他、普通の風邪と同様の症状も見られます。まれに乳幼児は脳症を、基礎疾患のある方や高齢者は肺炎を伴うなど、重症化する恐れがありますので、県では早期発見、早期受診を心がけるとともに、手洗いの励行や外出時のマスクの着用などの予防対策に努めるよう呼びかけています。



祝・ホームページアクセス数12万回超！



いつも本校のホームページをご覧ください、本当にありがとうございます。おかげさまで、12日（金）にこれまでのアクセス数が延べ12万回を超えました。11万回を超えたのが11月6日ですので、約2か月で1万回のアクセスがあったこととなります。心より感謝いたします。これからも、寒さに負けずに元気に学校生活を送っている石神二小の子どもたちの様子を紹介していきますので、皆さんどうぞお気軽にお立ち寄りください。

受験シーズン到来。

いよいよ受験シーズンですね。先日センター試験を受験した皆さん、お疲れ様でした。休む間もなく次の試験が待っていると思います。また、他の試験や高校入試など、様々な試験を抱えている方もいらっしゃると思います。最後まで諦めず夢の実現に向けて進み続けてください。寒さが厳しいですので、くれぐれもお体にはお気を付けてお過ごしください。郡山駅は、夢に向かって努力を続ける皆さんを応援しています。サクラ咲け！！

※ こちらは、JR郡山駅構内に掲示されている移動式黒板にチョークで書かれたメッセージです。東北出身の新入社員の方が書かれたそうです。2月上旬まで掲示する予定だそうです。【朝日新聞デジタル版より】

大学入試はすでに始まっており、2月1日（木）・2日（金）には福島県立高校のⅠ期選抜・連携型中高一貫選抜が行われるなど、受験シーズン本番です。本校の子どもたちのお兄さん、お姉さんの中にも受験生がいるかもしれません。風邪を引かないように気を付けて、目標を目指して頑張ってください。